

情報を読み取り、理由や根拠を明確にして自分の考えを表現する

1 指導のねらい（身に付けさせたい力）

- ①必要な情報を正確に読み取ることができる。
- ②根拠を基に、自分の考えを決められた条件に合わせて表現できる。
- ③伝記を読み、自分の生き方について考えることができる。

2 指導の実際

学習活動と発問（発は発問）	指導上の留意点と評価（評は評価）
<p>(1) 本時の学習のめあてを確かめる。</p> <p>(2) 資料「宮沢賢治の伝記」を音読する。</p> <p>(3) 文章に着目して黙読する。</p> <p><b>発</b> 共感するところや感動した言葉に線を引いて、読みましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝記は、人物の生き様を表現したものであり、その人生から共感できることや感動したことを学んでほしいことや学習後は、お気に入り伝記を読む活動へとつなげることを伝える。</li> <li>・発声等に気をつけ、しっかり声を出して読むように指導する。</li> <li>・共感するところや感動したところに線を引くなどして、叙述内容に即して読ませる。</li> </ul>
<p>(4) 情報を正確に読み取る。</p> <p><b>発</b> 資料「あきらさんの学級の話し合い」を読んで、ア、イ、ウにあてはまる言葉を伝記から探しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導をしながら、正確に読み取れていない児童へ支援を行う。（グループや隣同士での学び合い等も取り入れる。）</li> <li><b>評</b> 伝記に書かれている内容を正確に読み取れたか。</li> </ul>
<p>(5) 自分の考えを、根拠となる言葉を見つけてグループで話し合う。</p> <p><b>発</b> 線を引いた言葉を基に、自分の共感したことや感動したことを、グループで話し合いましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを発言するときに、その根拠(理由)となる言葉を見つけさせて発言させる。</li> <li>・線を引いた言葉の中から見つけるように支援する。</li> <li><b>評</b> 自分の考えの根拠となる言葉を見つけ、話し合うことができたか。</li> </ul>
<p>(6) 話し合ったことをもとに、自分の考えを決められた条件の下で書く。</p> <p><b>発</b> 話し合ったことを基に、賢治の生き方についてどう思うかを「幸せ」という言葉を入れ、八十字以上百文字以内で書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをまとめるときも、必ずその根拠となる言葉を入れることを指導する。</li> <li><b>評</b> 決められた条件の下で根拠を明確にして、自分の考えを表現（書く）することができたか。</li> </ul>
<p>*次時</p> <p>(7) お気に入りの伝記を見つけ読む。（発展）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館等で伝記を見つけて読み、自主学习ノート等にその感想を根拠になる言葉を交えて書くように指導する。</li> </ul>

【資料】宮沢賢治の伝記

一八九六年（明治二十九年）、岩手県に生まれた賢治は、この地域を次々におそう災害のために農作物がとれず、たいへんな苦しみを味わう農民を見て育った。「雨ニモマケズ」の詩には農民の幸せを願いつづけた賢治の気持ちが強く表れている。

賢治は農民たちのために働いた。一日じゅう村から村へと走り回って、農業に必要な科学知識や土の改良法などをくわしく教えた。過労から病気でふせってからも、自分の理想である人間も動物も自然も心を通わせて生きることの意味を書いた詩や童話をつくったり、訪ねてくる農民があれば、熱心に相談にのったりした。

しかし、病には勝てず、一九三三年（昭和八年）、ついに帰らぬ人となった。三十七歳の若さであった。賢治の一生は短かった。生きていた間は、地方の名もない詩人であり、童話作家であり、農業指導家であった。それが、今や、日本で名前を知らない人はいないくらい有名である。

毎年、賢治の故郷では、賢治の命日である九月二十一日に「賢治祭」がもよおされる。賢治がつくった詩の朗読や歌の合唱やかがり火を囲んで賢治について語る座談会がくり広げられる。宇宙にある全てのものが仲間になるとを願い、だれもが幸せになれる世界を求めた独自の文学を作り出した賢治。その詩や童話は、宇宙にかがやく小さな星となつて、私たちの心の中に生き続けていくにちがいない。

【資料】あきらさんの学級の話し合い

あきら 伝記の筆者は、この「雨ニモマケズ」には、賢治の気持ちが強くと表れていると言っているね。

ともこ そう、ア を願いつづけた賢治の思いはすばらしいね。

ただし 理想を追って生きていた賢治だけど、生きていた間は、あまり有名じゃなかったんだね。

あきら そうだね、地方の名もない イ だったんだね。

ともこ でも、賢治はすごいよね。だれもが ウ 世界を求めた独自の文学を作り出したんだものね。



あきらさんの学級では、【A】「宮沢賢治」の伝記を読んで、【B】話し合いをもちました。二つの文章をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【A】「宮沢賢治」の伝記

一八九六年（明治二十九年）、岩手県に生まれた賢治は、この地域を次々におそ  
う災害のために農作物がとれず、たいへんな苦しみを味わう農民を見て育った。「雨  
ニモマケズ」の詩には農民の幸せを願いつづけた賢治の気持ちが強く表れている。

賢治は農民たちのために働いた。一日じゅう村から村へと走り回って、農業に  
必要な科学知識や土の改良法などをくわしく教えた。過労から病気でふせつてから  
も、自分の理想である人間も動物も自然も心を通わせて生きるこの意味を書いた  
詩や童話をつくったり、訪ねてくる農民があれば、熱心に相談にのったりした。

しかし、病には勝てず、一九三三年（昭和八年）、ついに帰らぬ人となった。三  
十七歳の若さであった。賢治の一生は短かった。生きている間は、地方の名もない  
詩人であり、童話作家であり、農業指導家であった。それが、今や、日本で名前を  
知らない人はいないくらい有名な有名人である。

毎年、賢治の故郷では、賢治の命日である九月二十一日に「賢治祭」がもよお  
される。賢治がつくった詩の朗読や歌の合唱やかがり火を囲んで賢治について語る  
座談会がくり広げられる。宇宙にある全てのものが仲間になることを願い、だれ  
もが幸せになれる世界を求めた独自の文学を作り出した賢治。その詩や童話は、宇  
宙にかがやく小さな星となって、私たちの心の中に生き続けていくにちがいない。

【B】あきらさんの学級の話し合いの様子

あきら  
伝記の筆者は、賢治の気持ちが強  
く表れていると言っているね。

ともこ  
そう、  
ア  
賢治の思いはずばらしいね。

ただし  
理想を追って生きていた賢治だけ  
れど、生きている間は、あまり有名  
じゃなかったんだね。

あきら  
確かにそうだね、地方の名もない  
イ  
だったんだね。

ともこ  
でも、賢治はすごいよね。だれも  
が  
ウ  
世界を求めた独自の  
文学を作り出したんだものね。



- ◎ 出題のねらい
- ・ 必要な情報を正確に読み取り、整理することができるかどうかをみる。
  - ・ 根拠を基にして、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

## 【解答例】

ア 農民の幸せ

イ 詩人であり、童話作家であり、農業指導家

ウ 幸せになれる

を	の	た	に	熱
願	人	り	な	心
っ	や	し	れ	に
た	自	た	る	農
生	然	賢	世	民
き	へ	治	界	の
方	の	。	を	相
を	気	私	求	談
し	配	も	め	に
て	り	理	た	の
い	も	想	独	っ
き	忘	を	自	た
た	れ	追	の	り
い	ず	い	文	、
と	に	な	学	だ
思	、	が	を	れ
い	皆	ら	作	も
ま	の	、	り	が
す	幸	周	出	幸
。	せ	囲	し	せ

100字 80字

\* 採点基準 条件1、2に従っていること。